

3 おすすめ！教材・活動集

(1) 活動のヒント（日本語）

活動のヒント1	ことばかけのヒント
---------	-----------

子どもたちは、初めから正しく発音ができたり、文法的に正しく話せたりするわけではありません。特に、複数の言語の中でことばを覚える子どもたちは、母語の音韻や文法の影響もあり、日本語として正しく話すまでには時間がかかることは当然なことです。

間違ったときに「ダメじゃない」「そうじゃないでしょ」などと否定すると、子どもの話したいという自発性に水を差すこととなります。成長をゆっくり待つという気持ちでの指導が求められます。

<ことばかけのヒント>

(例1) 子どもが間違った発音で話すとき・・・

例えば、「サラダ」を「ちゃだだ」というような場合、歯の間から息を吐き出す「さ行」、舌を軽く巻く「ら行」は、小さな口の中では舌を動かしにくいいため、「さ」が「しゃ」や「ちゃ」、「ら」が「だ」となることは幼い子どもにはよくあることです。あるいは、母語の発音の影響で発音しにくい音もあります。

子どもが間違った発音で話しても、まず共感を示し、そのあとで、「そうだね、サラダだね」と正しい発音で子どもに返します。

「おいしそうなサラダだね」「〇〇ちゃんは、サラダ好き？」など、さりげなくことばを付けくわえながら、何度か正しい発音を示すこともよい方法です。

(例2) 一語文で話すとき・・・

例えば、子どもが「本」と一語文で言うとき、「この本を昨日読んだね」とか「この本は楽しいね」と、こどもの行動や気持ちをことばにしてある程度完全な文にして返します。これは、拡充模倣と言われ、ことばの発達を促す大切な働きかけです。

(例3) 「これ」「あれ」と代名詞を多用して話すとき・・・

日常会話の中では、代名詞だけでお互いの言うことがわかる場面が沢山あり、子どもたちは、わからないことばを代名詞に置きかえて話していることが多くあります。指導者は、意識して名詞を繰り返したり、文章で話しかけるようにします。



活動のヒント2

母国の歌や遊びを取り入れて



母国の遊びや歌を活動に取り入れることは、子どもたちにとってとても大切なことです。子どもたちのお母さんやおばあさんにも協力してもらえとよいですね。

1	多文化子どもの歌集 Ciranda, Cirandinha 輪になろう (特定非営利活動法人 多文化共生センター編)	中国語・韓国朝鮮語・タガログ語・スペイン語・ポルトガル語の5言語の童謡15曲の歌詞と訳詞、解説、楽譜を載せています。ブラジルの童謡の「Ciranda, Cirandinha」の遊び方も付いています。別売のCDもあります。
2	国際理解ハンドブック ブラジルと出会おう (国土社) 1,680円	ブラジルの料理や歌、ことばや遊びが掲載されています。
3	国際理解ハンドブック フィリピンと出会おう (国土社) 1,680円	フィリピンの料理や歌、ことばや遊びが掲載されています。
4	国際理解ハンドブック 韓国・朝鮮と出会おう (国土社) 1,680円	韓国・朝鮮の料理や歌、ことばや遊びが掲載されています。
5	国際理解ハンドブック 中国と出会おう (国土社) 1,680円	中国の料理や歌、ことばや遊びが掲載されています。
6	すぐに使える！ 6カ国語 保育の会話&文書便利帳 (CD-ROM付) 外国人の子どもの保育研究会編 (チャイルド本社) 4,600円	園の生活で特に必要な15の場面が、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、英語で翻訳されています。お知らせ文書の翻訳済みテンプレートを収録したCD-ROMも付いています。各国のじゃんけんや誕生日の歌、童謡なども紹介されています。

活動のヒント3

色々なポルトガル語の絵本

ここでは、「絵辞典」「くり返し場面が多く、同じ表現が反復されるお話」「小学校1年生の先取り学習」「ブラジルの民話」「日本の昔話」の5つのパターンの本を取り上げて紹介します。同じ本を入手することは難しいかもしれませんが、本選びの参考にしてください。

<絵辞典>

『O grande álbum dos pequenos alunos』 (Editora Salamandra)



学校生活の11場面で使われる500の道具の絵が、ポルトガル語と共に掲載されていて、絵辞典としても使えます。



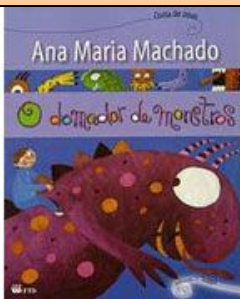
tinta



os lápis de cor


<くり返し場面が多く、同じ表現が反復されるお話>

『Domador de Monstros Ana Maria Machado』 (Editora FTD)




こわがりの子どもがモンスターに、「こんなモンスターだったらもっと怖い」と言って、次々と新しいモンスターを呼んでいきます。同趣向の場面が繰り返され、さらに体の部位の名称や、数の言い方が場面ごとに増えていきます。その繰り返しの中で、こわがりの子どもが成長していくお話です。

<小学校1年生の先取り学習>


『O nabo gigante』(『大きなかぶ』) Aleksei Tolstói e Niamh Sharkey (Editora Fabiana Werneck Barcinski)	
	大きなかぶは小学校1年生の国語教科書に取り上げられている教材です。一度お話を聞いて内容が分かっている場合は、国語の学習でも興味をもって取り組むことができます。また、「大きなかぶ」は「くり返し場面が多く、同じ表現が反復される」典型的なお話です。

※教科書は、それぞれの市町村で採用されている教科書会社異なります。どの教科書会社の教科書を使っているかは、市町村の教育委員会にお問い合わせください。

<ブラジルの民話>

『Contos e lendas do folclore brasileiro 1 / 2』 Cícero Soares (IPC社)	
	ブラジルの民話集。 第1集は、Cuca(クカ)、Curupira(クルピラ)、Lobisomen(ロビゾーメン)、Vitória-Régia(ヴィトリア・ヘジア)、Negrinho Pastoreiro(ネグリーニョ・パストレイロ)の5冊。 第2集は、Iara(イアラ)、Boitatá(ボイタター)、Guaraná(グアラナ)、Saci-Pererê(サシー・ペレレ)、Bumba-meu-boi(ブンバ・メウ・ボイ)の5冊。 いずれも、日本語・ポルトガル語で書かれています。

<日本の昔話>

『As histórias preferidas das crianças japonesas Livro 1/Livro 2』 日本の子供の大好きなお話』 Florence Sakada e Yoshisuke Kurosaki (Editora JBC社)	
	第1集には、桃太郎、舌きりすずめ、さるかに合戦、笠地蔵など、有名な日本の民話が20話掲載されています。第2集には、こぶとりじいさん、おむすびころりん、浦島太郎、つるのおんがえし等、16話が掲載されています。1, 2集共に、日本語・ポルトガル語で書かれています。

母語の本を使って読み聞かせをしたいと思っても、なかなか入手しにくいかもしれません。次のような方法を試してみましょう。

- 1 公立図書館には、ポルトガル語や英語、スペイン語など多言語の絵本を揃えているところがあります。

- ・愛知県内図書館横断検索

www.aichi-pref-library.jp/oudan/aichi_oudan_f.htm

ウェブサイト上で蔵書検索のできる県内市町村立図書館等の所蔵を一括検索できます。必要とする言語で検索し、絞り込んで調べます。

- 2 インターネットで公開されているものもあります。

- ・ *Historinhas para crianças*

<http://www.feijo.com/~flavia/index.html>

ブラジルの絵本紹介サイトです。*Chapeuzinho Vermelho*（赤ずきんちゃん）、*Os sete cabritinhos*（7ひきのこやぎ）、*João e Maria*（ヘンゼルとグレーテル）など、誰でも知っているお話が掲載されています。

- ・ デジタル絵本サイト

<http://www.e-hon.jp/>

対応言語：日本語・中国語・スペイン語・ノルウェー語・ドイツ語・スウェーデン語・英語・インドネシア語・韓国語・アミ語・イタリア語・フランス語

世界各国の民話がそれぞれの言語で翻訳されデジタル化されています。英語と日本語の音声でも楽しめるようになっています。

- 3 地域の外国人経営のお店でも購入できます。

- 4 外国人集住地域の小学校にはポルトガル語やスペイン語の図書を揃えている学校があります。



＜絵本の読み聞かせ＞

絵本の読み聞かせがことばの発達に良い影響があることは、すでに多くの方がご存じのことでしょう。では、日本語がまだよく分からない外国人の子どもに絵本の読み聞かせをする時、どのような観点で絵本を選んだらよいでしょうか。

例えば、次のような観点から絵本を選んでみましょう。

- ① 絵に力があり、絵だけである程度ストーリーが理解できる
- ② 同じ場面（出来事）の繰り返しがあ
- ③ 同じ言葉の繰り返しがあ
- ④ 親しめる人物や動物が出ている
- ⑤ 子どもが興味や共感を持てるテーマである
- ⑥ 対人的な表現が多く使われている
- ⑦ 語彙数の少ない絵本から、徐々に語彙数の多いものにしていく

また、こうして選んだ絵本を題材として、劇やペープサートをしながら役割に添った表現をする等、様々な発展的な活動を楽しんでみましょう。

1 『のせて のせて』 松谷みよ子作 （童心社）	
	まこちゃんの自動車に「のせて のせて」と、どんどん動物達が乗っていく話です。「のせて」という動詞の「て型」を繰り返して行為の要求をしていきます。
2 『わたしと あそんで』 マリー・ホール・エッツ文絵 与田準一訳 （福音館書店）	
	はらっぱへ遊びに行った少女のお話です。出会った動物に次々と「あそびましょ」と、声をかけていきます。
3 『てぶくろ』 ウクライナ民話 内田莉莎子訳 （福音館書店）	
	雪の降る森の中、おじいさんが手袋を片方落として行ってしまいます。ねずみが来て「ここで暮らすことにするわ」と手袋の中に入り、次にやって来たかえるが「わたしも入れて」と言うと「どうぞ」と入れてくれます。動物が次々とやって来て「わたしも入れて」「どうぞ」が繰り返されるお話です。

4 『いいって どんなこ?』 シーン・モデシット作 ロビン・スポワート絵 もきかずこ訳 (富士房)	
	<p>子ウサギのバニーは、いろいろなことが心配になって、次々にお母さんに質問します。でも、お母さんはいつも子どもをまるごと受け入れて、「いまのまんまのバニーが大好き」といってくれます。受け入れられる安心感を感じる本です。</p>
5 『おおきなかぶ』 ロシア民謡 A・トルストイ再話 佐藤忠良絵 内田りさこ訳 (福音館書店)	
	<p>犬や猫など動物たちが増えるたびに、大きな声で言くり返される言い回しと「うんとこしょ どっこいしょ」の掛け声が、子ども達に楽しく受け入れられます。1年生の国語教科書にも掲載されています。</p>
6 『きんぎょが にげた』 五味太郎作 (福音館書店)	
	<p>きんぎょはちから逃げたきんぎょが、部屋のあちこちに隠れます。きんぎょが部屋の景色に紛れ込んでいるので、きんぎょがどこにいるのか楽しく探す絵本です。「どこ?」という疑問詞の導入に活用できます。</p>
7 『パパ、お月さまとって』 エリックカール作絵 森久左志訳 (偕成社)	
	<p>「パパ、おつきさまとって」とせがむ娘のため、パパがとった行動とは……。楽しいしかけ絵本で、日本語があまり分からなくても話の内容が分かる作品です。「ながい」はしご、「高い」山、「大きい」お月さま、楽しいしかけを通して形容詞を学ぶことができます。</p>
8 『はらぺこあおむし』 エリックカール作 (偕成社)	
	<p>はらぺこあおむしが、食べ物を探すお話です。曜日、数、助数詞もたくさん使われています。</p>

活動のヒント6

歌ったり踊ったり

4、5歳は、音楽的な能力が非常に発達する時期と言われています。日本語のことばも、音楽に合わせて歌ったり、手遊びやリズム遊びをすることで、定着が速くなります。また、歌を使うことで負担なく反復練習をすることができます。

その日の活動の初めに歌を歌って、学習が始まることを意識づけたりもできます。

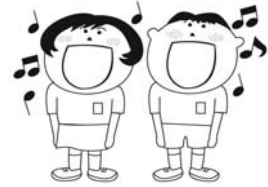
	歌	特に覚えたい「ことば・文」 活動のヒント
1	手をたたきましょう	「泣きましょう、笑いましょう、怒りましょう」などの感情を表すことばを手遊びで覚えます。
2	どんないろがすき	色を言うときに、色のカードを一緒に挙げて歌います。
3	あたま かた ひざ あし アブラムの子できるかな？ (エリック・カール絵本うたCD)	体の部位の名前を覚えます。手遊びやリズム遊びもあります。 →活動例 4
4	インディアンのうた	「ひとり、ふたり、さんにん…」といった数え方を覚えます。指を「1、2、3…」と出しながら歌ったり、黒板に「一人、二人、三人…の絵」を貼り指しながら歌うと、実際の数と言い方とのマッチングが可能になります。
5	あら どこだ	「ろばの耳は上向いて 象の耳は下向いて 私の耳は顔の横…」という歌詞は日本語が全く分からない子どもには理解が難しいですが、絵カードを作り、歌詞の意味とことばをつなげると分かりやすく、位置のことばを覚えることができます。手遊びもあります。
6	こぶた たぬき きつね ねこ ドレミのうた	語頭音の意識付になります。 「こぶた…」はしりとり遊びの導入になります。動物のお面を作って踊るなどの活動もできます。「ドレミ…」はことば集めの導入になります。
7	月ようびはなにたべる？ (エリック・カール 絵本うた CD)	曜日の言い方は子どもたちにとって覚えにくいものですが、この歌は、曜日の繰り返しが楽しくできます。カラオケ付きなので「月曜日はどこへいく？」等、替え歌を作ったの応用もできます。



活動のヒント7

替え歌を使って

4、5歳は、音楽的な能力が非常に発達する時期と言われています。愛知県のプレスクール指導者たちは、この年齢の子どもたちの特性に注目し、替え歌を作って、ひらがな50音の並びや拗音の言い方の練習をしました。



活動例	
1	<p>「ももたろう」の歌に合わせて、歌います。</p> <p>1. あいうえお かきくけこ さしすせそ たちつてと なにぬねの はひふへほ</p> <p>2. まみむめも や ゆ よ らりるれろ わ を ん あかさたな はまやらわ、 ん!</p>
2	<p>「きらきらぼし」のメロディーに合わせて、歌います。</p> <p>1. あいうえおはよう かきくけこんにちは さしすせそうじ たちつてとけい なにぬねのーと みんなあいうえお</p> <p>2. はひふへほし まみむめもも やいゆえようふく らりるれろけっと わいうえをーん みんなあいうえお</p>
3	<p>「きらきらぼし」のメロディーに合わせて、歌います。</p> <p>きゃ きゅ きょ しゃ しゅ しょ ちゃ ちゅ ちょ にゃ にゅ によ ひゃ ひゅ ひょ みゃ みゅ みよ りゃ りゅ りょ ぎゃ ぎゅ ぎよ じゃ じゅ じょ ぢゃ ぢゅ ぢよ びゃ びゅ びょ ぴゃ ぴゅ ぴよ</p>

- ・歌を歌って覚えることで、ひらがな50音の並びを理解し、分からないひらがなも50音表を見て歌いながら答えを探し出すことができるようになります。
- ・一字に対して四分音符が一つと等価であるため、それまで音楽に親しみのなかった子どもにも比較的リズムがとります。
- ・「おはよう」のときにおじぎをするなど、動作を交えて行うことで、離席の多い落ち着かない子どもでも、お遊戯の感覚で歌うことができます。
- ・語彙が増えてきた子どもは、「あいうえおはし かきくけこっぴ」のように自分で歌詞をかえて歌うこともできます。

活動のヒント8

絵カードを活用しましょう

ことばを覚えるとき、子どもたちが一番覚えやすいのは、実際に体験したり、具体物を見たり、触ったりしたりすることです。けれども、限られたプレスクールの活動の中で全て具体物を用意するのは難しく、そんな時には絵カードや絵本など、視覚的に理解を助けるものを活用しましょう。

市販の絵カードには、子どもたちが楽しんで使えるものが沢山あります。

1	ひらがなカード (くもん出版)	表面にひらがな清音、裏面にその文字を頭に置いたひらがなことばと絵が付いています。英語訳付き。
2	大判ひらがな ことばカード1集 (くもん出版)	ひらがな清音で構成される2文字のことばのカード。表面に絵とことば(文字)と英語訳、裏面にことば(文字)が付いています。
3	大判ひらがな ことばカード2集 (くもん出版)	ひらがな清音で構成される3文字から6文字のことばのカード。表面に絵とことば(文字)と英語訳、裏面にことば(文字)が付いています。
4	大判ひらがな ことばカード3集 (くもん出版)	ひらがなの濁音や促音、長音を含むことばのカード。表面に絵とことば(文字)と英語訳、裏面にことば(文字)が付いています。
5	生活図鑑カード シリーズ (くもん出版)	カテゴリー別の絵カード。「たべものカード」「くだもの・やさいカード」「のりものカード」「生活道具カード」「動物カード」など、生活語彙を増やす活動に使います。
6	ことば絵カード 100 (こぐま会)	3歳児レベルの生活のことばの絵カード。表面に絵、裏面にことば(文字)が付いています。仲間集め、しりとり、同頭音・同尾音の理解などの活用例が付録に付いています。
7	しりとりカード1 しりとりカード2 (こぐま会)	しりとり遊びができるカード。表面に絵、裏面にことば(文字)が付いています。
8	きおくカード (こぐま会)	9種類のカード(動物、乗り物など)で、それぞれの種類に6枚ずつのカードがあります。

活動のヒント9

絵カードを作ってみましょう

活動に必要な絵カードを、自分で作ってみましょう。

- 1 活動人数によって、絵カードのサイズを変えましょう。
 - ・ 1～5人の少人数の活動では、名刺サイズでも十分使えます。名刺サイズは、子どもの手を持ちやすく、持ち運びにも便利です。
 - ・ 大集団で活動する場合は、はがき大～A4サイズが使いやすいでしょう。
- 2 活動内容によって、絵と文字を同じ面に書いたり、別の用紙に書いたりします。
 - ・ 絵と文字を同じ面に書く場合…しりとりやカルタに使います。
 - ・ 絵と文字を別用紙に書く場合…神経衰弱やババ抜きなどに使います。



ひらがなを覚えた子どもには、字カードを見せて絵カードを取らせたり、その逆に絵カードを見せて字カードを取らせたり、神経衰弱に使ったりと、子どものレベルに応じて指導者が様々な活用方法を考えましょう。

- 3 少し厚めの紙に書いたり印刷したりしたものを、ラミネート加工しましょう。
 - ・ ラミネートフィルムを使って、ラミネート加工をしておけば、汚れも付かず、子どもたちの活発な活動に耐えることができます。
- 4 カテゴリー別に分けて整理しておく、活動中すぐに使えて便利です。

<イラスト集>

- ・『こども年中行事カット CD-ROMブック』 マール社 2,000円
- ・『がっこうイラスト CD-ROMブック』 MPC 編集部 2,625円

<ウェブページ>

- ・ IPA 独立行政法人情報処理推進機構
教育用画像素材集 <http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/>
→教育用画像素材集 カテゴリー一覧→国語→基本語彙
※「IPA 独立行政法人情報処理推進機構 教育用画像素材集」は、学校等教育機関等における教育目的のための、非営利での利用に限り、複製、加工、二次的利用を行うことができます。
- ・ みんなの教材
<http://minnanokyozai.jp/kyozai/home/ja/render.do;jsessionid=3E3991376DFD31645CD59CEA63AA8D6C>
※「みんなの教材」は国際交流基金日本語国際センターのウェブページで、登録をすれば誰でも活用することができます。イラストも沢山掲載されています。

活動のヒント10

100円 shop は教材教具の宝庫です

子どもたちと楽しく活動をするために、多くの教材教具を用意したい！でも、活動費用は限られていて市販教材を無限に購入することはできないし、自作で教材教具を作るにも時間に余裕がない、ということがよくあります。



そんな時、100円 shop は頼もしい存在です。子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、活動を考えることは楽しいことです。

インタビューごっこ	カラフルポンポン	ひらがな黒板
		
<p>→活動例1 〈インタビューごっこ〉</p>	<p>→活動例25 〈カラフルポンポン〉</p>	<p>黒板を模したボードにひらがなが書いてあり、その上にひらがなの文字をのせて使います。磁石で付くようになっています。ひらがなの導入時に使うことができます。</p>
野菜・果物模型	あいうえおサイコロ	ひらがな・数字ビンゴ
		
<p>数を数えたり、野菜や果物の名前を覚えたりするときに使います。子どもは絵カードのような2次元の物よりは、3次元の物の方が良く覚えることができます。買い物ごっこなど、様々なごっこ遊びにも使うことができます。</p>	<p>ひらがなのサイコロです。色々なゲームに活用できます（例えば、サイコロを振って「あ」が出たら「あ」の付くことばを言うなど。）。</p>	<p>覚えたひらがなや数字を使ってビンゴ遊びをしましょう。自分で数字や文字が書けない子どもには、指導者が文字を書き込んだものを用意します。</p>


活動のヒント11

幼児用の知育玩具・知育ドリル

幼児用知育玩具は、子どもが楽しく遊びながら学ぶ工夫がされています。小学校の子どもがいる家庭では、こうした幼児知育玩具が使われないで眠っていることも多く、地域のお母さんに声をかけて探して、活用することもできます。ここでは、読み書きの指導に活用できる玩具を紹介します。

1	<p>46ピース ひらがな (アポロ社) 504円</p> 	<p>ひらがなのジクソーパズル。ひらがなの文字と50音の並びを確認しながら、作ります。自分一人ではできない時は、ひらがな表を見ながら作ります。同じシリーズで「46ピース カタカナ」もあります。</p>
2	<p>こえでおぼえる あいうえおのほん (音のでる知育絵本) いわいだゆうこ 1,943円</p> 	<p>ボタンを押すと声が出る音声絵本。ボタンの各文字に絵が書いてあり、日本語のことばから文字を連想し、音声で確認して覚える本です。大きな文字とイラストが入った絵本が上についていて、それを自分でめくって同じ文字を探したりします。ひらがな導入時に活用できます。同じシリーズでカタカナの「アイウエオのほん」もあります。</p>


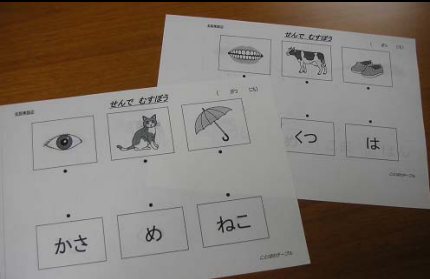

幼児用知育ドリルが沢山出版されています。文字による指示が少なく、絵が内容理解の助けになるものを選んで活用しましょう。宿題で使うときは、一部を活動の中で一緒にやり、子どもがやり方を十分理解してから宿題にします。

1	<p>『やさしいめいろ』 1集・2集 『めいろあそび』 1集・2集 (くもん出版)</p> 	<p>鉛筆を持った経験が少なく、運筆や筆圧に不安がある子どもには、楽しく遊びながら力をつけるドリルをすることもよいでしょう。</p>
---	---	--

活動のヒント12

特別支援教育用の教材

特別支援教育用の教材は、小さなステップで少しずつレベルを上げていくものが多く、外国人の子どもの日本語指導に活用できるものが沢山あります。

<p>1</p>	<p>『学級ですぐに使える表・カード・算数』 『学級ですぐに使える表・カード・国語』 ～障害児教育用ファックス資料集～（学研） 上下セット 8,000円</p> 	<p>学齢期児童用の特別支援教育プリント教材ですが、つまずきの多い児童であったり、ゆっくりと基礎を確認していく子どもには適しています。子どもの状況に応じてプリントを選んで使う必要があります。</p>
<p>2</p>	<p>『ことばのテーブル 100枚プリント第3集 ひらがな読解ワーク』（葛西ことばのテーブル）</p> 	<p>ひらがな一文字が音読でき始めた子どもが活用できる、単語～1文レベルの読解ワーク集。『ことばのテーブル言語訓練カード第1集 名詞・動詞 150 絵カード』（1,260円）と対応しているので合わせて活用すると有効です。</p>
<p>3</p>	<p>『ソーシャルスキルトレーニング（SST）絵カード 1日の生活絵カード』 ことばと発達の学習室 M 編（エスコアール） 3,800円</p> 	<p>自閉症・LD・ADHDなどの場面状況認知やソーシャルスキル獲得に困難を抱える子どもたちへの指導用絵カードです。「身近な出来事の意味」や「場面・状況にふさわしい行動」、「相手の気持ち」等を学ぶことができ、外国人の子どもの学校生活指導にも活用が可能です。裏面には指導のヒントなどの簡単な説明が書かれています。</p>

活動を進めるにあたって、教材や教具の実物を見てみたいと思われるかもしれません。

愛知県内には、外国人の子どもの日本語教育に関する教材教具を収集整理し公開しているリソースルームがあります。プレスクールの教材教具に特化しているわけではありませんが、多くの教材教具をご覧になることで、新しいアイデアが湧いてくることもあるでしょう。機会があれば、ぜひ一度のぞいてみてください。

1 愛知県国際交流協会「日本語教育リソースルーム」

<http://www2.aia.pref.aichi.jp/topj/indexj.html>

- ・資料（学校現場や地域の日本語教室などで作成された日本語教材、市販の日本語教材、日本語教育に関する報告書など約 1,500 冊）の閲覧
- ・日本語教育についての情報提供・勉強会の実施・日本語教室の調査
- ・オープン時間：火曜日と土曜日の 10：00～17：00
（祝日・休日・年末年始は休み）

2 愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルーム

<http://www.resource-room.aichi-edu.ac.jp/index.html>

TEL/FAX：0566-26-2219

E-mail：gendaigp@aecc.aichi-edu.ac.jp

外国人児童生徒教育に関する書籍を主に所蔵。

- ① 外国人児童生徒指導に使用する教材・タスク集等書籍
- ② 小中学校の教科用図書
- ③ 各種辞書類
（英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・韓国語）
- ④ 外国人児童生徒に関する本（JSL カリキュラムなど）
- ⑤ ブラジル・フィリピン調査の際に購入した教材
- ⑥ 論文リスト

※リソースルーム内で所蔵書籍・論文の検索を行うことも可能。

<外国人児童生徒教育支援に関する相談>

日本語教育を専門とするスタッフが、教材の紹介・作成などの情報提供をはじめとした各種相談を受け付けている。

メールやファックスでの相談も受け付けている。

